



Title	a+a 美学研究 第14号 執筆者紹介
Author(s)	
Citation	a+a 美学研究. 2023, 14
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/103379">https://hdl.handle.net/11094/103379</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 執筆者紹介

## 高安啓介 | たかやす・けいすけ

1971年生まれ。大阪大学大学院人文学研究科教授。大阪大学大学院文学研究科博士課程修了。博士（文学）。愛媛大学法文学部准教授を経て現職。専門はデザイン思想史。著書『近代デザインの美学』（みすず書房、2015年）。

## 田中 均 | たなか・ひとし

1974年生まれ。大阪大学大学院人文学研究科准教授。専門は、ドイツ語圏を中心とする近代美学、芸術における「参加」をめぐる諸問題。著書に『ドイツ・ロマン主義美学』（御茶の水書房、2011年）、訳書にクリストフ・メンケ『芸術の至高性』（共訳、御茶の水書房、2011年）など。

## 武澤里映 | たけざわ・りえ

兵庫県立美術館学芸員。大阪大学大学院文学研究科博士前期課程2年。アラン・カブローとハブニングの研究。専門は、アメリカおよび日本の現代美術。

## 布施琳太郎 | ふせ・りんたろう

1994年東京都生まれ。アーティスト。東京藝術大学大学院映像研究科博士課程前期修了。iPhone発売以降の都市で可能な「新しい孤独」を実践。絵画やテキストによる描写、展覧会や映像の編集などを、様々な人たちと協働しておこなっている。

## 正清健介 | まさきよ・けんすけ

1984年生まれ。日本学術振興会特別研究員P D。一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程修了。博士（学術）。専門は、映画研究。論文に「小津安二郎『お早よう』におけるオナラの音」（『表象』10号、2016年）など。

## 近藤存志 | こんどう・ありゆき

1971年生まれ。フェリス女学院大学文学部教授。エディンバラ大学大学院博士課程修了。PhD (Edin.)。専門はイギリス芸術文化史、建築史、デザイン史。著書に『時代精神と建築』（知泉書館）、*Robert and James Adam, Architects of the Age of Enlightenment* (London: Routledge)、『光と影で見る近代建築』（KADOKAWA）など。

## 岡田弥生 | おかだ・やよい

大阪大学大学院文学研究科博士後期課程2年。専門はインドの染織文化。マハトマ・ガンディーの思想がファッションにおよぼした影響について研究している。

## 佐藤紗良 | さとう・さら

日本学術振興会特別研究員P D（東京大学）。大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。アルハンプラ宮殿の修復史を中心に、歴史的建造物及び庭園修復の諸問題を研究領域とする。

# a+a

## 美学研究

Studies in Aesthetics and Art Criticism

編集：大阪大学大学院  
人文学研究科美学研究室

## 美学はそんなに美しくない

伝統の理解はいかに未来の生活につながるのでしょうか。  
複数の文化のあいだで共通する価値はあるのでしょうか。  
技術の進歩によって人間の知覚はどう変化しているのでしょうか。  
機械にはできない人間らしい創造とは何なのでしょう。  
芸術家はいかに社会の闇にかかわるのでしょうか。  
社会活動のなかで美を問うことはあるのでしょうか。  
芸術作品はどれほど日常の品々より優れているのでしょうか。  
紙の雑誌というメディアはどのくらい意味をもつのでしょうか。  
たまたまこの冊子を手にとってしまった皆さん。  
数々の問いから、思わぬ可能性がひらかれるかもしれません。

# 13号

## デザイン新潮流

はじめに  
高安啓介

3Dプリンタ時代の工芸家像  
北村仁美

現代写真と古陶磁  
宮川智美

無装飾から超装飾へ  
高安啓介

匂いのデザイン  
岩崎陽子

長寿時代を生きるための運動のデザイン  
近藤存志

人間の目から考える景觀デザイン  
山内貴博

現代的ランドスケープと公共空間  
佐藤紗良

人間の脳・機械の脳・環境の脳  
高安啓介

デザイン哲学の陥穽  
——スローターダイクにおける「島化」と「泡塊」  
田中 均

裁量労働制の寓話  
——ヴェネツィアの彫刻家から博多の仙厓まで  
橋本順光

風をデザインする  
平井直子

Gマークは「共有と協働」の時代へ  
森山明子

| 写真 |  
勝又公仁彦

# 12号

## シアトロクラシー

観客の美学と政治学

序論

演劇の批判と弁護  
クリストフ・メンケ

ルソーとシアトロクラシー  
——『ダランベール氏への手紙』における「見せもの」の近代性  
田中 均

モーリッツ「演劇への不幸な傾倒」における演劇狂と健全な市民  
——教育的言説の批判的考察  
梶原将志

「大衆をほぐす」  
——シアトロクラシーと映画（館）  
海老根 剛

音楽＝劇の批判的構成のために  
——ベンヤミンとアドルノの美学を手がかりに  
柿木伸之

今日のアートにおける批判とは何か——参加型アートを中心に  
石田圭子

演劇とアール・ブリュット  
——ヴァレール・ノヴァリナの俳優論を中心に  
井上由里子

「花の下」連歌における〈観客〉の発生と融解  
土田耕智

ポエティウス『音楽教程』における音楽観  
——音楽の三分類と音楽家の規定をめぐって  
田之頭一知

音楽の欠片1 開演前  
河口 篤

美学は言葉を考える  
高安啓介

エッセイを書く面白さ  
山下泰春

音楽の欠片2 勝手な聴き手  
河口 篤